



**ROCK PAINT**

061ライン

# ザビカット® II

弱溶剤一液型変性エポキシサビ止め塗料

一液型

速乾性

環境低負荷

高防錆性

塗料用シンナー  
希釈タイプ

高付着性

仕上がり良好

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

**ロックペイント株式会社**

## サビカットIIは

塗料用シンナーで希釈することができる速乾性で防錆力にすぐれた、一液型エポキシ系のサビ止め塗料です。

従来の油性・合成樹脂系サビ止めペイントでは、上塗りまでに1日の乾燥が必要でしたが、サビカットIIは当日のうちに上塗り塗装が可能です。また耐久性、付着性にすぐれるため、鉄鋼構造物の新設塗装や塗り替えに大きな威力を発揮します。

鉛・クロム系の原料を使用していないため、安全面や環境に配慮した設計になっています。

## 特長

### 1. 一液型、速乾性

一液型で可使用時間を気にする事なく取り扱いができ、合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂系および各種弱溶剤型上塗り塗料をその日のうちに塗装することができます。

### 2. 環境低負荷で、すぐれた防錆力

鉛・クロム系化合物を原料として配合していません。また、高性能特殊防錆顔料を使用していますので、環境にやさしく、すぐれた防錆性能を発揮します。

### 3. ターペン希釈が可能

においの比較的マイルドな塗料用シンナーで希釈、塗装ができます。(ただし、塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。)

### 4. 付着性良好

変性エポキシ樹脂の性能を活かして、鉄、トタン板、ステンレスなどの金属素材および各種旧塗膜への付着性がすぐれています。(2種ケレンで塗装が可能)

### 5. 塗装作業性、仕上がりの良さ

ハケ、ローラー、エアレスでの塗装作業性が良く、上塗り塗料の吸い込みが少ないため、美しい仕上がり感が得られます。

## 用途

- 屋内外の鉄鋼構造物の新設および塗り替え用下塗りとして。
- トタン板、亜鉛処理鋼板\*、アルミ板\*、ステンレスの新設および塗り替え用下塗りとして。

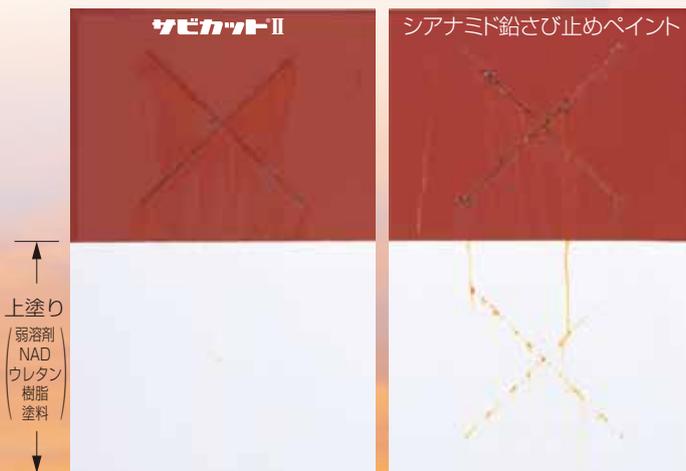
\* 亜鉛でキラキラ輝く鋼材やオイル処理をしたものおよび、非鉄金属の種類によって付着しない場合がありますので試し塗りをしてご確認ください。

## 性能

項目		サビカットII	シアナミド鉛さび止めペイント
乾燥性 (20℃)	指触乾燥	10分	3時間
	硬化乾燥	60分	10時間
	塗り重ね可能時間	4時間以上7日以内	24時間以上
金属素材との付着性	鉄(黒皮鋼板を含む)	○	○
	トタン <sup>注1</sup>	○	×
	熔融亜鉛処理鋼板 <sup>注1</sup> (HDZ-55除く)	○	×
	電気亜鉛処理鋼板(ボンデ鋼板など)	○	×
	ステンレス(SUS304など)	○	×
	アルミニウム(A1050Pなど A6063Sを除く) <sup>注2</sup>	○	×
防錆性 (耐水噴霧 300時間)	さび幅	1mm	1mm
	ふくれ	異常なし	異常なし
	セロテープ剥離幅	1mm	3mm

注1 表面がキラキラ光輝いている場合は塗装を避けてください。白さびは除去してください。  
注2 素材の種類により、付着性が十分に得られない場合があります。ご注意ください。

## 防錆性比較試験



(試験条件:耐塩水噴霧試験168時間、ダル鋼板(P400ペーパー空研ぎ、下塗り30μm、上塗り40μm)

## 塗装適性のある上塗り塗料<sup>注3</sup>

種類	弊社該当製品名	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○
弱溶剤一液架橋型NADウレタン樹脂塗料	ダイナロックIII <sup>注3</sup>	○
弱溶剤1液架橋型NADアクリルシリコン樹脂塗料	1液ユメロック <sup>注3</sup>	○
弱溶剤二液型NADシリコンウレタン樹脂塗料	ユメロック <sup>注3</sup>	○
弱溶剤二液型NADアクリルシリコン樹脂塗料	ハイパーユメロック <sup>注3</sup>	○
金属製屋根、トタン屋根用塗料	ロックトタンペイント 1液ユメロックルーフ ユメロックルーフ	○
アクリル樹脂系非水分散形塗料	エパーロック	×
塩化ビニル樹脂塗料	—	×
各種水性塗料	ハイパービルロックセラ ビニロックリシン ユニロックハイグロスなど	×

注3 塗装仕様がF☆☆☆☆仕様の場合は、上塗り塗料もF☆☆☆☆製品を使用してください。(ダイナロックIII、1液ユメロック、ユメロック、ハイパーユメロック)

※ 高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗りは専用プライマーを選択してください。

## 旧塗膜に対する塗装適性

種類	弊社該当製品名	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○
フタル酸樹脂系塗料	タフコート	○
塩化ゴム系塗料	—	○
ポリウレタン樹脂系塗料	ロックウレタントップ	○
弱溶剤ウレタン樹脂系塗料	ダイナロックIII	○
弱溶剤アクリルシリコン樹脂系塗料 <sup>注4</sup>	1液ユメロック、ユメロック ハイパーユメロック ユメロックルーフなど	○
トタン屋根用塗料	ロックトタンペイント	○ <sup>注5</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料	エパーロック	× <sup>注5</sup>
塩化ビニル樹脂塗料	—	×
各種水性塗料	ユニロックハイグロスなど	×

注4 シリコン系塗料や焼付タイプの旧塗膜の場合は、付着性が悪いことがありますので、ペーパー等で表面あらしを行ってください。

注5 塗料用シンナーに溶解、膨潤するような旧塗膜には塗装しないでください。

使用方法		
塗装方法	ハケ・ローラー	エアレス
希釈剤 <sup>注6</sup>	塗料用シンナー	
希釈率	0~10%	10~20%
標準塗付量 <sup>注7</sup>	0.12~0.14kg/m <sup>2</sup> ・回 <sup>注8</sup>	
標準塗布面積	114~133m <sup>2</sup> /16kg・回	

注6 指定希釈剤以外は使用しないでください。  
 注7 塗装時のロスを考慮に入れた数値で、施工方法、条件により、多少の幅を生じる場合があります。  
 注8 特別な環境が想定される施工、部位、仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。(その場合の被塗物への付着質量(塗付け量)は0.10kg/m<sup>2</sup>・回です。)

容量・色			
品番	色名(日塗工標準色 <sup>注9</sup> )	容量	色 <sup>注10</sup>
061-1540	赤サビ色 (09-40L近似)	16kg、4kg	
061-1541	グレー (N-75近似)	16kg、4kg	
061-1542	ホワイト (N-93近似)	16kg、4kg	
061-1544	ブラック (N-10近似)	16kg	

注9 (一社)日本塗料工業会 塗料用標準色による色番号です。  
 注10 色は印刷ですので実際のものとの差異があります。

## 標準塗装仕様

### ● 鉄部、亜鉛処理鋼板、アルミなど新設(弱溶剤一液架橋型塗料仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	希釈方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
素地調整	鉄部の場合は電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤さびは除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、SIS St3程度。じんあい、水分、油脂分は完全に除去。 非鉄金属の場合は、油脂、ごみ、ほこりは完全に除去し、白さびがある場合はサンドペーパー、ワイヤーブラシ、その他の手工具で完全に除去。「2種ケレン」						
下塗り	061ライン サビカットII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0~10 エアレス： 10~20	1	0.12~0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り① (ウレタン仕上げ)	018ライン ダイナロックIII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	25	12時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	024ライン 1液コメロック	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	25	10時間以上

### ● 鉄部、亜鉛処理鋼板、アルミなど塗り替え(弱溶剤一液架橋型塗料仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	希釈方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。「2種ケレン」 チョーキングした面、ごみ、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、ほこり、粉を拭き取り、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061ライン サビカットII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0~10 エアレス： 10~20	1	0.12~0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り① (ウレタン仕上げ)	018ライン ダイナロックIII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	25	12時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	024ライン 1液コメロック	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	25	10時間以上

### ○ 鉄部、亜鉛処理鋼板、アルミなど塗り替え(弱溶剤二液型塗料仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	希釈方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。「2種ケレン」 チョーキングした面、ごみ、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、ほこり、粉を拭き取り、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061ライン サビカットII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0~10 エアレス： 10~20	1	0.12~0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り① (シリコンウレタン仕上げ)	114ライン コメロック 配合比(重量) 主剤9：硬化剤1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	30	2時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	114ライン ハイパーコメロック 配合比(重量) 主剤9：硬化剤1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	30	2時間以上 7日以内

### ● 鋼板屋根、トタン屋根など塗り替え(弱溶剤二液型塗料仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	希釈方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、完全に除去する「2種ケレン以上」。 チョーキングした所、ごみ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061ライン サビカットII	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0~10 エアレス： 10~20	1	0.12~0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン コメロックルーフ 配合比(重量) 主剤9：硬化剤1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5~15 エアレス： 10~20	2	0.11~0.13	30	2時間以上

\* 標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値で、形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。  
 上塗りは必ず2回塗り以上で仕上げてください。1回塗りでは上塗りの性能が十分発揮できません。

## 使用上及び施工上の注意事項

- ・使用前に塗料を十分攪拌し、全体を均一にしてください。
- ・気温が低く湿度が高い場合は完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合や天候不良が予測される場合は塗装を避けてください。
- ・素地の油脂分、水分、ほこりなどはよく清掃してから塗装してください。
- ・飛散防止のため、塗装しないところは養生をしてください。
- ・乾燥過程で、霜、夜露等の影響を受ける恐れがある時間帯の塗装は避けてください。
- ・屋外塗装の場合は必ず高圧水洗浄、ブラシ等により水洗浄を行い、塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、砂、枯れ葉などの汚れや、剥がれかかった塗膜は確実に取り除いてください。
- ・先に塗りにくい所を塗ってから、また高い所から下の方に塗り場を確保しながら塗装してください。作業時の安全には十分注意し、高所で作業をする場合は安全ロープをかけてください。
- ・素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。予め適切な処理を行い、試し塗りを実施後仕様を決めてください。
- ・塗装作業中及び塗膜を乾燥させる際には十分に換気を行い、火気厳禁を守ってください。
- ・各工程の塗装間隔や塗装回数、塗分量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社規定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- ・標準塗装仕様中の標準塗分量については塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- ・この塗料はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上 F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、材料を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔、塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- ・溶接接合部や下塗りにキズがある場合はその部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ・塗り重ね可能時間は屋根部など通常温度が高くなると工程間隔が短くなり、上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離を起こすことがありますので注意してください。このような場合、4時間乾燥させた後、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシ等で表面を目荒らしした後、脱脂した上で上塗り塗装をしてください。
- ・上塗り塗装時はサビカットⅡの塗装面を何度もしごきますと、サビカットⅡが再溶解やにじみが発生し、仕上がりに悪影響を及ぼす場合がありますので注意してください。
- ・塗装面の取り合い等で、可朔剤を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は避けてください。またこれらの素材に塗料が付かないように注意してください。
- ・さび止め塗装後、塗り重ね可能時間を守ってください。硬化が不十分ですと塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- ・内部の塗り替えにおいて、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合はサンドペーパーなどで研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は塗膜剥離などを起こす場合があります。
- ・上塗り塗装は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- ・ハケなど塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・このカタログに記載している上塗り塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

## 安全衛生上及び取扱い上の注意

### 〔製品の危険・有害性〕

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤蒸気を吸入すると中毒を引き起こす。
- ・大量又は継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こす。
- ・感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こす恐れがある。
- ・**スプレーダストや塗料の付着したウエスなどは発熱し、自然発火する恐れがある。**

### 〔救急処置〕

- ・目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 〔施工後の安全性について〕

- ・本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うように指導ください。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板などを設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

### 〔取扱注意事項〕

- ・取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- ・取扱作業所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- ・溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶性)、長袖作業着などを着用してください。
- ・アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- ・取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- ・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- ・よくフタをして直射日光を避け、40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
- ・指定された以外の商品と混合しないでください。
- ・廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。

安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。



# ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000 TEL(06)6473-1055 FAX(06)6473-1000  
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1  
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433  
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 差正ビル201 岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34  
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966  
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1  
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販 売 店